

仕様書（血液ガス分析装置一式）

別紙1

【機器構成内訳】

品名	数量	単位
血液ガス分析装置	1	式
(構成内訳)		
血液ガス分析装置	2	台

【調達物品の備えるべき技術的要件】

(性能及び機能に関する要件)

1 血液ガス分析装置については以下の要件を満たすこと。

1-1 据え置き型タイプの装置かつ、装置規格が 幅25cm、高さ50cm、奥行き30cm、重量15kg以下であること。

1-2 pH, pCO₂, pO₂, Na⁺, K⁺, Ca²⁺, Cl⁻, Glu, Lac, tHb, sO₂, O₂Hb, HHb, COHb, MetHb, Bil, HbFを1ショットにて測定できること。1-3 Na⁺, Cl⁻ 7~350mmol/L, Ca²⁺ 0.1~9.99mmol/L, Glu 0~1081mg/L, Lac -0.1~ 31mmol/L の測定範囲を有すること。

1-4 上記項目にてシリンジ測定で65 μL以下、キャピラリー測定で45 μL以下で測定できること。

1-5 測定サイクル時間が60秒以下であること。

1-6 シリンジ測定において測定結果時間が35秒以下であること。

1-7 1日の平均可能測定時間が23時間30分以上あること。

1-8 自動精度管理機能を有し、精度管理溶液はシリンジ検体と同一経路を通ること。

1-9 電解質項目の測定において塩橋溶液はギ酸ナトリウムを使用していること。

1-10 オキシメトリーにおいて超音波溶血処理後に測定を行うこと。

1-11 消耗品はセンサカセットタイプ、パックタイプであること。

1-12 標準作業手順書として、ビデオ操作ガイド機能を有すること。

1-13 次亜塩素酸等の溶液によるタンパク除去機能が不要であること。

1-14 月間想定検体測定数を600件としてセンサカセットの交換サイクルが30日以上であること。
(検体検査室装置1台辺りの月間測定検体数に基づく)

1-15 インレットの自動開閉機能を有していること。

1-16 患者測定結果記録 を過去2000件以上装置でいつでも確認ができ、かつ検索機能を有すること。

1-17 2の測定項目に加え、1回の測定でクレアチニン及びBUN測定が行えるよう機能の拡張ができるこ

1-18 オーダー発行すれば、測定結果に患者IDを反映できること。

1-19 バーコードリーダーを内蔵し、RS232Cポート、USBポートを有すること。

1-20 現行の部門システムと接続が可能であること。

1-21 装置内部にバッテリー搭載する機能を有すること。

(性能及び機能以外に関する要件)

2 その他については以下の要件を満たすこと。

2-1 搬入、配線及び調整等については、本院担当職員と相談のうえ適正に行なうこと。

2-2 物品の搬入、据付及び調整に要する経費は、受注者の負担とすること。

2-3 修理対応が必要な際に、休日・夜間を問わず24時間365日早急に対応ができる体制を有すること。

2-4 四国内にサービス拠点があり、医療機器修理責任技術者及び、医療機器修理業の講習を受けた者が常駐していること。また、修理対応可能な技術者が2名以上常駐していること。